

d) 東かがわ市引田地区 歴史街並み景観調査

引田の地区の歴史・背景

■ 大正時代～戦前(最盛期)の引田



旧庄屋:「日下家」



醤油業:「岡田家」
(かめびし醤油)

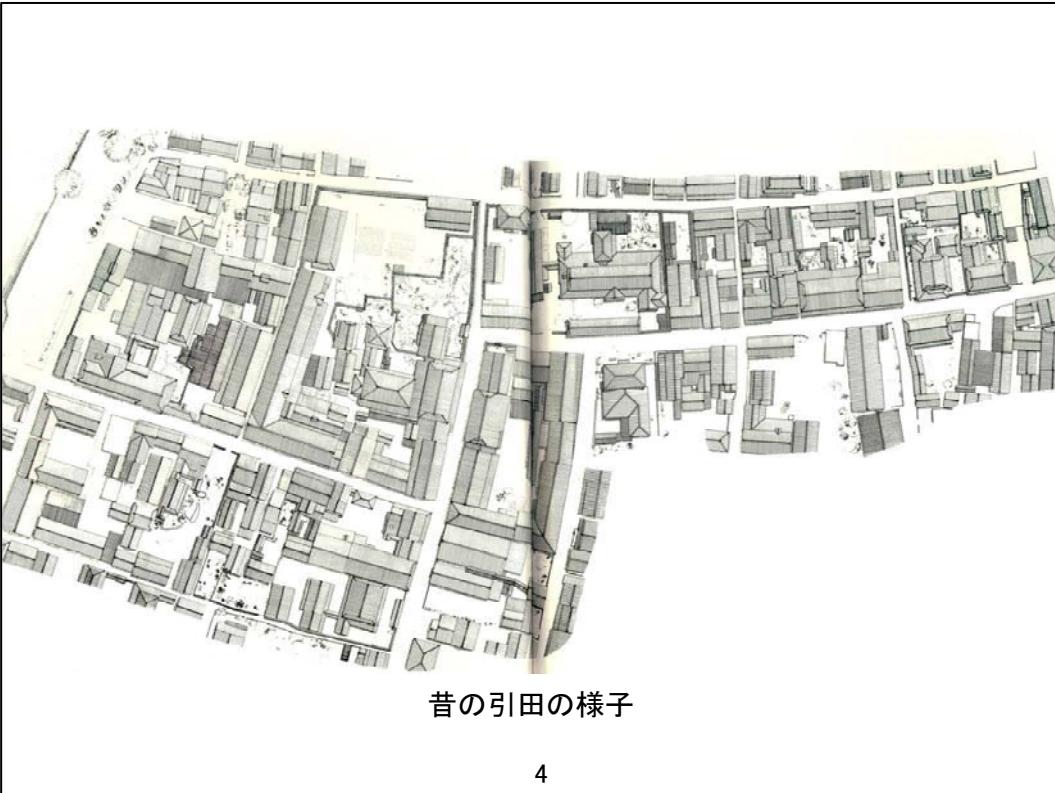


酒・醤油業:「佐野家」
(旧井筒屋)

3

まち並み保全に到った経緯

- 平成9年頃 旧井筒屋・佐野家…空家になる
- 平成13年 地域住民の有志:「町並み景観保存運動世話人会」結成
「引田のまち並み保存に関する請願」を町議会に提出
- 平成13年12月 請願が採択され町が土地建物を取得
- 平成14年2月 「旧井筒屋及び引田まち並み基本計画検討会議」開催
「町並み景観保存運動世話人会」、「引田まち並み保存会」設立
- 平成15年4月 東かがわ市が誕生
旧井筒屋の運営計画等が再検討
- 平成16年6月 本格的な改修が始まる
「引田まち並み保存会」、観光歴史ガイドの活動を開始
- 平成17年2月 旧井筒屋が「讃州井筒屋敷」としてリニューアルオープン
- 平成17年4月 「NPO法人東かがわ市ニューツーリズム協会」設立



観光交流・まち並み保全等に関わる現在の組織・活動

■ まち並み保存会の活動



観光交流・まち並み保全等に関わる現在の組織・活動

■ NPO東かがわ市ニューツーリズム協会の活動

事業概要

5

ガイドマップ等の作成・配布

讃州井筒屋敷の保全・活用

■ 東かがわ市における「讃州井筒屋敷」の位置付け

- 東かがわ市が進める「東かがわニューツーリズム」における観光交流の実践活動を行なう施設。

■ 「讃州井筒屋敷」の保全・活用に向けた検討の経緯

- 地域市民と意見交換を行ない、保全と活用の相反する事項を調整
- 讃州井筒屋敷は、地域の活力につながるような運営方法を前提に計画

讃州井筒屋敷の保全・活用

■ 現在の活用状況

- 母屋棟以外の各蔵は、テナントが入居
- 地場産品を使った**地場産業体験**
⇒オリジナル手袋ハンドワーク、和三盆型抜き体験など



讃州井筒屋敷



讃州井筒屋敷各テナントの様子

6

観光交流・まち並み保全等に関する様々な取り組み

■ 伝統や風習をアレンジしたイベントの開催



引田ひなまつり



風の港まつり



ひけた着物語り

7

■特産品を使った產品開発



しょうゆまんじゅう(醤油)



和三盆ロール



おちらし飴(醤油)



はまちのくんせい

観光交流・まち並み保全等に関する様々な取り組み

■ 広域連携

- ・隣接するさぬき市、鳴門市との連携



□ 名所・名産品

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------------------------|
| • 鳴門うず潮 | • 四国88ヶ所: 88番札所奥の院 | • 四国88ヶ所: 86番、87番、88番札所(おわりの3ヶ寺) |
| • 大塚国際美術館 | • 醤油 | • 養殖カキ |
| • 四国88ヶ所: 1番札所、2番札所 | • 和三盆 | |
| • フルーツ:なし、ブドウ | • 養殖ハマチ | |
| • ワカメ | | |

観光交流・まち並み保全等に関する様々な取り組み

■ 広域連携

- ・隣接するさぬき市、鳴門市との連携
- ・港町ネットワーク・瀬戸内への加入
⇒情報交換や連携のあり方を検討



課題と展望

■ これからの課題

- ・中長期的・計画的な保存・活用事業を担保する施策・体制の強化
- ・組織運営事業活動資金の確保(自主財源の確保)
- ・地域市民の考えや思いと協会の事業活動のシンクロ
- ・協会活動を市民自らの意図を繁栄させる一体的な取り組み
- ・市民のリーダーの存在

■ 今後の展望

- 行政は、まち並みの保存や活用について、具体的かつ計画的な方向、目標を地域市民の意思を確認し示す
- 行政、協会、市民の役割を**三者が共通に確認**
- まち並みの景観形成のため、**必要最小限度の修景整備**
- JR、バス、高速バスの駅舎、停車場からの導線作りや**景観形成**、
- **情報提供サービスステーション**などの機能整備

